

特定非営利活動法人 ねばあらんど 職員の皆様へ

ねばあらんど 会員一同

本日正式に辞令をお受け取りになりました40名の職員のみなさん。私たちねばあらんど会員一同は、みなさんを心より歓迎いたします。

みなさんはそれぞれにいろんな壁を乗り越え、またいろんな物語を持って、この「ねばあらんど島」へたどり着きました。その道のりは決して平坦ではなかったと感じています。しかし今日この日から、みなさんお一人お一人が、ねばあらんどの大切な仲間となりましたことは、とても感慨深い思いでいっぱいです。

ねばあらんどが目指す学童クラブは、「子どもたちを預かる場」というところから抜け出し、「子どもの自立を支えていく場」であることです。そしてその子がその子らしくあること。また、学童クラブもそれぞれ個性豊かにあってほしい。そのためにはまず職員や会員が、「自分らしく」あること。つまり「自分が自分の主体になっていくこと」が大切であろうと思います。

もう一つは、地域の子育てに関わる人たちと手をつないでいくことです。子育てネットワークの中で、学童クラブが一つの大きな結び目になっていくことを目指したいと思います。学童クラブが地域で欠くことのできない存在となったとき、「指導員」という仕事も、よりしっかりと確立していくものと信じています。

そんなことを夢見て、私たち12名の会員は共に、法人立ち上げにかかわり、ねばあらんどが産声を上げました。そしてみなさんが仲間に加わって下さったことで、ようやくよちよち歩きを始めました。それらのすべてが、私たち会員にとってもまったく新しいチャレンジでした。

ですから職員のみなさんも新しいことを恐れず、真っ直ぐに飛び込んでいって下さい。毎日子どもたちに向き合うみなさんこそが、ねばあらんどの大切な屋台骨です。子どもへのまなざし、声かけ一つ、お便りに載せることばの一つにも、「自分らしさ」を忘れずに、子どもや保護者、地域と向き合って下さることを、期待しています。

私たちもねばあらんどを支える仲間として、共に歩んで参りたいと思います。

ねばあらんど会員 東海林ふみ